

# 立沢、坂本養川せぎ、稗の底の自然と歴史 森と水ウォーキング



冬の陽だまり、初夏の木陰、秋の紅葉と季節ごとに楽しめる川沿いの道。

沢水を集めた上水道水源地。富士見の水は美味しいはず。



北アルプス (冬)



標高1200mの立沢からは北アルプス全山がよく見える。

車に注意！ 立場川キャンプ場

憩の森別荘地

坂本養川(1736-1809)が開削したせぎの一つ、立場川乙事せぎを歩く。

静かな森林の、落ち葉が積もった尾根道を登る

危険！水路の橋を渡る。自身のない人は引き返して。

このせぎを造った坂本養川は本当にすごい人だ。急斜面にせぎが続く。

稗の底村は慶長以前に開かれた古村であった。ここは寒冷で作物が育ちにくく、猪、鹿、狼などの害も多く、生活が厳しかった。そこで1645年頃、村人は立沢新田へ移った。その後一部の人は旧村に引き上げたが、1665年頃には全員が乙事村へ移り、廃村となった。(『立沢村の歴史』より要約)

稗の底古村跡

大先神社

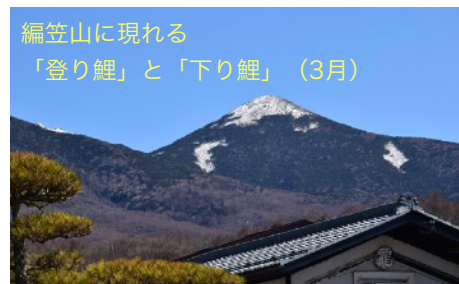
小六へ至る

- 立場川コース (2.3Km 40分)
- 沢筋コース (2Km 30分)
- 連結コース (0.7Km 10分)
- 尾根筋西コース (2Km 30分)
- 尾根筋東コース (0.7Km 15分)
- 稗の底コース (2Km 30分)
- 立場川乙せぎコース (3Km 60分)
- 仙ヶ沢新せぎコース (6km 150分)

注目 眺望 樹木 花 紅葉



編笠山に現れる「登り鯉」と「下り鯉」 (3月)



稗の底。西出口、中出口、東出口の湧水口がある。